

第36回 新美南吉童話賞入選者 (敬称略)



今年の新美南吉童話賞には、自由創作部門一般の部754編、中学生の部496編、小学生高学年の部81編、小学生低学年の部30編、新美南吉オマージュ部門276編、合計1,637編の作品が47都道府県から寄せられました。ありがとうございました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

〒 新美南吉記念館 ☎26-4888

最優秀賞 (文部科学大臣賞)

新美南吉オマージュ部門

「どろぼうの悲しみ」 やまと そら (東京都)

自由創作部門

●一般の部●

◇優秀賞(愛知県知事賞)

「松の道」

村上 あつこ(東京都)

◇優秀賞(半田市市長賞)

「冬のリュウ」

林田 香菜(東京都)

◇特別賞(ミツカン賞)

「二本の赤えんぴつ」

にしの 桃子(尾張旭市)

◇特別賞(知多信用金庫賞)

「キッチン」の賢者」

山中 秋(山梨県)

◇特別賞(中部電力パワーグリッド賞)

「ラクダのコブには」

さかた やすよ(東京都)

●中学生の部●

◇優秀賞(公益社団法人半田青年会議所賞)

「カラスの時代」

池田 優織(千葉県)

◇特別賞(半田信用金庫賞)

「人が消える町」

岡上 のぞみ(大阪府)

◇佳作

「蟬日記」

足立 陽菜乃(知多市)

◇佳作

「ふしぎななつまつり」

木村 琴羽(大府市)

●小学生高学年の部●

◇優秀賞(半田市議会議長賞)

「うさぎとかげ」

小林 想葉(神奈川県)

◇佳作

「天国条約」

高橋 悠(半田市)

●小学生低学年の部●

◇優秀賞(中日新聞社賞)

「雨あがり」

加藤 あい紗(安城市)

◇佳作

「うららちゃんのすてきなしゅくだい」

河尻 悠季(半田市)

新美南吉オマージュ部門

◇優秀賞(半田市教育委員会賞)

「キツネのおどり」

藤野 高美(福岡県)

◇特別賞(新美南吉顕彰会賞)

「青い帽子」

西川 夏末(半田市)

◇佳作

「うそ時計のうた」

七ツ樹 七香(熊本県)

◇佳作

「幻燈」

菊地 奏(東京都)

ごん吉くんレポート

～南吉よもやま話～

第76回

南吉からの年賀状

近年、SNSなどを使った新年の挨拶が増えていますが、みなさんは年賀状を出しましたか?南吉記念館では、南吉が書いた年賀状を4通所蔵しています。年賀郵便の特別取扱制度(年末の一定期間に受け付けると、元日頃に配達される)の始まりは明治期ですが、年賀切手の発売は昭和11年の年賀状用からで、記念館の資料も昭和11年だけ年賀切手を使用されています。しかし日中戦争の戦局悪化などを要因に、昭和13年頃から年賀郵便は減少し、昭和15年11月に特別取扱は停止しました。

- ①歌見誠一宛(友人)S10.1.2消印「春を祭る 新美南吉」(※)
- ②巽聖歌宛(北原白秋門下の先輩)S11.1.1消印「謹賀新年／(略)」
- ③河合弘宛(友人)S11.1.1消印「謹賀新年／(略)」
- ④鈴木知都子宛(女学校の教え子)S15.1.7消印「明けまして／おめでたう／(略)」

②～③は、本名の「新美正八」ですが、①だけはペンネーム「新美南吉」で送っています。挨拶もこれだけお馴染みの定型文ではなく、余白を贅沢にとり、短い言葉の中に、めでたく喜ばしい気持ちが表わされています。

東京外国語学校の学生時代に同じ詩人仲間へ送った、南吉らしい年賀状です。

参考文献:日本郵便株式会社監修(平成31年)『年賀状のおはなし』ゴマブックス

※「春」の表現は、正月を「新春」と言うように、旧正月が春の始まりだった名残として使用されたものと思われます。



①通信面



②日本最初の年賀切手